

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 矢谷 明也
建設設計製図Ⅱ（建築）	5	前期・演習・2単位	研 究 室 非常勤講師室
Construction Design Drafting Ⅱ			内線電話
履修単位科目			e-mail:
科目到達レベル： <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 分析 <input type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			
<p>【授業目的】 建築士の製図試験課題等を参考にして、社会でニーズのある多岐にわたる用途の建築物について、設計課題を通して、設計条件の分析、敷地の建物配置の是非、各建築用途の機能、寸法、空間構成、構法、製図法、特に手描きによる製図作成によって、人に見せる図面の作成に心がけ、プレゼンテーション能力の向上などについて学ぶ。</p> <p>【Course Objectives】 1. Skills for design of housing space 2. Skills for presentation and drafting</p>			
<p>【到達目標】</p> <p>①. コンセプトを企画することができる。 ②. 限られた時間内にエスキースができる。 ③. 限られた時間内に設計ができる。 ④. 要求された課題に即した図面が描ける。 ⑤. 設計内容を発表できる。</p>			
<p>【学習・教育到達目標】 (C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。 (H) コンピュータを技術の実践に活用できる。</p>			
<p>【キーワード】 建築計画, 建築設計 Architectural plan, Architectural design</p>	<p>【授業時間】 4時間（90分）×15週=60単位時間（45時間）</p>		
<p>【授業方法】 演習形式で毎週進行状況と内容を確認しながら進める。</p>	<p>【学習方法】 建築雑誌や建築作品集に掲載された実作品の設計意図を理解するように心がけ、実務的な設計製図などに応用すること。 建築物は使い手であるユーザの立場を常に意識した設計計画を心がけること。</p>		
<p>【履修上の注意】 A2サイズ対応の、製図板、T定規（平行定規可）、各種テンプレート等、手描きの製図に必要な用具を各自準備し、毎回の授業に持参すること。</p>	<p>【科目の位置付け】</p> <p>1. 先行して履修すべき科目</p> <p>2. 後で履修する関連科目</p> <p>3. 同時に履修する関連科目</p>		
<p>【定期試験の実施方法】 定期試験は行わない。提出物による。</p>			
<p>【成績の評価方法・評価基準】 課題（製図）を提示し、課題の提出作品+プレゼンテーションで総合評価を行う。 コンセプト、企画力、設計、製図、プレゼンテーション作成等についての到達度を評価基準とする。</p>			

